



北陽同窓

会報・第14号

1993年6月1日

発行 北陽高等学校同窓会

編集 同窓会広報委員会

印刷 関西廣済堂

平成4年度全国高等学校ハンドボール選抜大会

名古屋市ハンドボール協会設立40周年記念大会



写真は準優勝の母校 ハンドボールチーム▲

第16回全国高等学校選抜ハンドボール大会を顧みて

平成5年3月28日、愛知県枇杷島スポーツセンター、夢にまで見た決勝戦の晴舞台にわがハンドボール部は立つことができた。初出場であるわがチームは3月26日、1回戦シード、2回戦東京の名門、明星高校との激突、この日大阪からバス2台（総勢100名）で応援に駆けつけてくれたサッカー部と陸上部の面々が真赤なシャージに着替え大声援を送ってくれる中、選手達は燃えに燃え26対15と快勝し、全国初デビューを勝利で飾った。

そして翌27日は学校では職員会議があり残念ながら応援にこれないため校長先生を始め諸先生方の28日の決勝戦には必ず応援にくるから頑張ってくれの激励に応え27日の準々決勝で九州の名門、大分電波高校を21対15と降し、続いて準決勝では千葉県の二松学舎大学付属南高校を27対20と降し、決勝戦に進出することが出来た。

決勝の相手は前年度この大会の準優勝高、熊本市立商業高校、決勝戦の前のセレモニーの中、

スタンドに目をやると校長先生を始め、諸先生方、選手の父母や家族、O B、後援会の方々、合宿中にもかかわらず駆けつけてくれたテニス部の選手諸君、そして私の郷里浜松からも先輩後輩や友人達、私の家族達もそれぞれの胸にいろいろな思いを込めて名古屋に駆けつけてくれた。選手達は精一杯頑張った。しかし18対24、結果は準優勝、相手チームの喜びとは裏腹にわがチームは優勝と準優勝との差を歴然と味わわせられた。しかし、その中から新たな闘志が沸き上がってきた。次のインターハイにも必ず大阪で勝ち挙がり、もう一度日本一の座へチャレンジしたいという気持ちを抱くことが出来た。

最後になりましたが、今迄北陽高校ハンドボール部を支援していただいた皆様方に心から感謝いたします。今後とも宜しくお願ひいたします。有り難うございました。

ハンドボール部監督 鈴木 和宏

母校の現況

校長 林 敏夫

同窓の皆様にはご健勝のことと存じます。

平成元年以降高校では全国的に生徒数が減少しつつありますが、その中で本校では受験者が3545名と未曾有の数になり、併願者の戻りが異常にふえたため、入学者は678名の多数に上り、予定より3クラス増となりました。従って、1年15、2年13、3年12の計40クラスの大世帯で発足しました。

これより先の2月には592名が卒業、別表の進路を決めたわけですが、はじめて卒業生を出す特進コースからは38名中23名が大学に進学しました。浪人組も頑張り、久しぶりに早稲田大学に合格する者もいました。

教科では、昨年から実施した三年就職コースのコンピューターによる情報処理の授業も順調に進み、生徒たちの熱心な勉強と相まって、一応の成果を挙げることができました。

次に、懸案のプールが今年6月には完成いたします。老朽化したプールを取り壊し、室内温水プール(短水路公認プール)が今建設中です。これで水泳部の生徒たちは本校で冬も練習ができると喜んでいます。また、その傍にバレーボールができる位の大きさの小体育館(武道場)を併設することにし、現在同時に工事が進捗しています。この完成により、体育の授業はもとより、各クラブの発展にも貢献してくれるものと期待しています。

クラブと言えば、野球部は今春の選抜大会の選に洩れて、惜しくも補欠校となり、サッカー部も選手権の大坂予選決勝に敗れて全国大会出場はなりませんでしたが、代ってハンドボール部が念願の大坂大会優勝を果たして3月下旬名古屋で行われた全国高校選抜大会に初出場、決勝戦に進出しました。惜しくも熊本商に敗れて準優勝にとどまりましたが、この健闘は素晴らしいものでした。

その他、水泳(メドレー)は夏の総体で3位、国体で4位に入賞、サッカー部は総体予選、近畿大会で優勝、陸上部も近畿大会の常連となり、更にテニス部の躍進は目ざましく、大阪のベスト4に入るまでに成長してきました。他の部も負けじと練習に余念がありませんから、今後の

活躍が期待できます。なお、堀江教頭が三月末で定年退職、金沢勇先生が新教頭に就任しました。これを機に一層教職員協力の紐帯を強く結び、校運発展に努力する所存ですので、倍旧のご叱正、ご協力をよろしくお願い申しあげます。

平成4年度 進路先状況

(H5.3.31現在)

在籍者数	大学進学	専門学校	就職(自営含む)	浪人その他
594	96	165	216	117

1. 大学合格者延べ182名(現役133名浪人49名)

	四年制一部	四年制二部	短期	合計
現役	92	3	38	133
浪人	41	3	5	49

*主な進学先

	現役	浪人	現役	浪人
滋賀	1		大阪学院	2
北九州		1	京都学園	4
早稲田		1	英知	1
明治		1	大阪国際	1
関西学院	2		追手門	1
同志社		1	大阪産業	8
立命館	1		桃山学院	3
甲南	1		天理	3
龍谷	1		神戸学院	6
駒沢		1	摂南	3
大阪経済		5	阪南	7
京都産業	8		奈良産業	5
近畿	7	1	姫路独協	1
京都外国语	2	1	札幌	1
関西外国语	4		大阪電気通信	1
帝塚山		1	大阪工業	2

2. 専門学校の主な進学先

大阪工業技術 6 兵庫科学技術 6 日本コンピューター 5

修成建設 6 大阪会計 5 梅田ビジネス 14

駿台外語 5 大阪ビジネスカレッジ 5

3. 資本金100億以上の主な就職先

近畿日本鉄道 東海旅客鉄道 日本貨物鉄道

西日本貨物鉄道 日本通運 西濃運輸

トヨタ自動車 日産自動車 本田技研工業

ダイハツ 三菱自動車 スズキ 東洋ゴム

住友電気工業 アサヒビール 積水化学

三菱電線 上新電気 ニチイ 阪急不動産

同窓会長ご挨拶

藤井文太郎

稻野治兵衛氏の急逝の後を受けて同窓会の代表役を引き継ぎました。何んとか同窓会本部としての骨組みは出来ましたが、まだまだ虚弱でして、何かが起れば忽ち倒壊してしまいそうな気が致します。

数年前に提案しました支部規約や同窓会の憲法である会則、委員会規定や敬弔規定など今の時代に適った手直しを迫られました、その改正案が去る5月8日の代議員会で審議、可決され、即日実施の運びとなりました。

次は“人の問題”です。有能な人材を数多く求めなければなりません。有能な人材とは母校愛や同窓愛が強く、同窓相互の情理に理解が広く大きい方を云います。このような方を一人でも多く同窓会組織の中に出て来て頂きたいのです。

第三番目に支部組織の強化拡大をしなければなりません。それには本部と支部との関係を定めた支部規約を元に強化拡大の努力をする必要があります。

第四番目に理事、代議員の改選、増員は年々根気よく続ける必要があります。これらの方々や支部役員の方々を軸に、同窓各位とのコミュニケーションをはかり、人の和と相互の連携協力の輪が出来ていくことを願って止みません、またその実現に徹力を致したい決意であります。

稻野前同窓会長を偲ぶ

彼の同級生である小生が60年前の記憶を今筆にすることはなかなか愚生の頭ではアウトプットはむずかしい、だからといって、出鱈目を記すことは意とするところではない、むしろ東京・毎日新聞社の社会部長時代の彼、即ち「組織暴力の実態」で活躍した当時、偶然東京に集った同期の面々、紙丸(旧姓宮本)瀬川(故人)らで夜を徹して祝酒を振る舞った、そして将来を互いに語った楽しい思い出がある、その後も故人との出会いは度々あり、卒業後の交遊として生前までのよき友でありました。

ところで学生時代の彼は一年の2学期が始るとき、名門校の茨木中学からの編入、転校生として、我々の仲間入りをしたのです、当時、1学年は2クラスで80名位でした。彼は学期末には1位から3位の成績で、どのクラブ活動にも属さず文学青年の存在だった。

又ゲートル通学時代で故人はいつも、キチンと正しく綺麗に巻いて通っていた姿は、今も忘れることなく脳裏にインプットされています、又當時ラップズボンの流行、今日で云うオシャレな、イキなゲートル姿で通学した生徒に比べ

れば代表的な模範生徒でした、正科だった教練では小隊長として常に我々を指導しておった、いずれにせよ立派な生家に育ち酒造家の息子で、通学態度もよく将来を約束された人でした、ほんとに惜しい人を失いました、他界後、千里のお宅で奥様から伺いました、本当に運命の糸というものを感じさせられましたと………

小宮 茂記(S10年卒)

×××××

昨年7月7日、毎日新聞社から稻野さんの訃報が飛びこんだ。一瞬わが耳を疑うほどの驚きであった。その知らせのわずか10日前の6月27日、母校同窓会室でお会いし「同窓会報の面倒を見るように」と依頼されたばかりで、お帰りの際、「元気にならゴルフに行こう」と話されたのが忘れられない。

出会いは私が毎日新聞社に就職してから数年後、社会部記者の稻野さんが北陽の先輩と知り、ご挨拶してからもう40年になる。その間、公私にわたってお世話になった。残念なのは20数年前、編集局長になられたころ「社内の北陽同窓会を開いては…」とお勧めを頂きながらとうとう実現できなかった。今更悔まれてならない。

稻野さんは昭和29年、毎日労組の副委員長として社員の待遇改善問題に取り組み、誠実と押しの一手で経営陣と渡り合い満額に近い回答を引き出し、同業A社をわずかながら上回った実績は労組史が物語っている。

昭和36年、アメリカではケネディが43歳の若さで第35代大統領になり「タイマツは新世代に…」の名演説で全米をうならせたちょうどその時、稻野さんは社会部長に昇格された。部員を集め就任挨拶で「私もケネディとおない年。これからは若者の時代だ。読みこたえのある紙面づくりに体当たりしよう」の第一声は社会部史に記録されている。

また当時、口の悪い連中が「クラヤミの牛」というあだ名をつけた。おっとりされてはいるが、ちょっとやそっとでモノゴトに動じない強固な信念からついたものだろう。平面、部下の話をよく聞く大器でもあった。若い記者と酒を酌みながら企画した「組織暴力の実態」は暴力団内部をあばいた連載記事として好評を得て新聞協会賞に輝いた。社会部長と若手記者のラインの上下を感じさせない親しみと尊敬から生まれたものだった。

毎日新聞社の常務、専務を経て、昭和56年、関西大学に移り、理事長という頂点を極められ、旅立つ一週間前まで病魔をおして執務され、称賛のほかはない。改めてご冥福をお祈りしたい。享年74歳。合掌 鶴川 権治記(S20年卒)

同窓だより

第16回商業第1本科同窓会 (昭和18年・1943年卒業)

私たちは毎年1回、恒例の同窓会を平成4年11月7日(土)大阪弥生会館で開催しました。

当日、出席した友人は19名でしたが年々その数が減少していくことは誠に寂しい限りです。

席上、母校や同窓の近況報告等が中野、山崎両君からあり、1年振りに再会した喜びとお互の健康を祝しながら時間のたつのも忘れて歓談し、来年また逢う日を約束して散会しました。

さて、私たちは昭和18年末に卒業してから早くも満50年を経過しましたがその間、在校中は太平洋戦争のど真中で青春時代を過ごし、飢餓の苦しみはいやという程、体験しました。これから残された人生はお互いに健康が第一と思います。その上で趣味などを生かして楽しく送れれば最高です。

今年も11月に私たちの同窓会を開催しますので一人でも多くご出席下さいますようお願いします。

最後になりましたが母校、そして各学年度のOB会及び同窓会本部のご発展と同期生諸兄のご健福をお祈りします。

世話人 真壁和義

出席者は次の各氏

小山義勇、瀬川種夫、畠 一、山本義男、上田康三、杉本次男、宮原純一、中路 浩、奥田正道、田中義信、加藤隆明、中野豊治、山崎勝巳、佐藤誠一、上野 修、下村 豊、松原 正、釘宮義照、真壁和義。



写真は第16回第1本科同窓会▲

「60歳の節目を祝し(昭和26年卒)

同窓の親睦会」

去る2月7日午後5時から世話人国沢武君の参加呼びかけで十三の中華料理店に19人が集まり久しぶりの同窓会が開催されました。

不況風も吹き飛べとにぎやかに酒を酌み交わし、和気藹々約3時間歓談した。次回予定10月10~11日高槻山水館にて行われることになりました。

(S 26年卒・福島記)

出席者は次の各氏

休井輝男、井上 茂、福島嘉雄、飴谷千里、国沢 武、杉山友洋、井上研一、大森良通、岡本得三、古川貞夫、尾崎 繁、徳岡弘志、盛田 健、山脇義信、神保信行、苗代 清、上田 勉、吉田幸平、吉田貞雄。



S 26年卒同窓会▲

平成四年度東京会の集い

とき 平成4年9月27日1泊

ところ 热海リフレッシュセンター

議題 故稻野治兵衛氏に対する黙禱に始まる

1. 同窓会支部総会の報告

1. 新会長 藤井文太郎氏の方針

参加者 向所登貴郎、十時良雄、糸井弘至、

宇野 宏、菊野良平、小宮 茂、

栗原卓治、美和政治の各氏。



写真は東京会出席者▲

吹田支部設立総会開催！

支部長に中野 豊治氏

かねて市内在住の同窓有志が何度となく集い、準備を進めていた「吹田支部」がようやく誕生した。その陰には同窓有志が卒業生名簿から市内在住同窓1200人をリストアップ、支部設立を呼びかけ、その努力が実った。総会は平成5年2月7日、JR吹田駅隣の吹田さんくす「ほたん苑」に33名が参加して盛大に開催された。来賓に母校から林校長、本部から藤井同窓会長を迎えて激励と祝辞を受けた。会場内では同窓相互の近況の話、職場での仕事について歓談するもの等、懐かしさ一杯、和やかな雰囲気につつまれ親睦を深めて散会した。

支部長=中野豊治(S18年卒)(TEL387-0049) 副支部長=阪原弘(S27年卒)(TEL384-8492)、

多水義和(S44年卒)(TEL380-2418) 会計=田中義信(S18年卒)(TEL388-3164)の各氏

(支部加入、ご意見、ご要望等ありましたら上記までご連絡下さい)

母校 クラブだより

硬式野球部

監督 新納 弘治

硬式野球部は現在部員83名、「野球を通じて人格を磨く」を目標に頑張っています。

私がクラブ活動を通じて生徒に指導したいことは、社会に出て役立つ人間を育てること。礼儀、集中力、根性の三つの育成です。いかに野球技術が優れても精神力の弱い選手、集中力に欠ける選手はここ一番の大切な時に必ずボカをやらかします。厳しい練習を通じて根性を養い、チームプレーを通じて選手達が心を一つにして頑張った時、おのずから道は開けるものと確信しております。

さて昨年の秋季大会は、大阪大会第3位、近畿大会ベスト8の成績でした。8月に新チームを編成した時点ではここまで成績は期待出来ませんでした。しかし幸いクジ運にも恵まれ、5回戦のPL戦が大きなヤマだと思っていたのですが、そのPLが大阪学院に破れ、北陽が大阪学院にコールド勝ちという嬉しい誤算が生じました。しかし泉大津に不覚をとり、3位決定戦で近大付属に薄氷の勝利をおさめ近畿大会に駒を進めることができました。近畿大会では奈良県1位の五条高に勝ったものの和歌山県1位の南部高には力およばず敗退しました。この大会で選手達は精神力、集中力の大切さを学んでくれたと思います。そして一回り大きなチームに成長してくれるものと確信しています。残念ながら今春のセンバツ大会には出場出来ませんでしたが、この悔しさをバネに今後一層頑張りたいと思っております。今後共一層のご支援をお願い致します。

水泳部

監督 石坂 喜一

昭和56年以来、全国高校総出場は今年度で11

回目を数えるに至った。部員数も毎年30名を越える多人数に膨れあがっている。また、大阪では近大付属高校を筆頭に、次の座を本校を含め初芝・上宮・太成の4校が毎年争っており、本校も強豪チームの仲間入りとして安定してきた。

現在までの全国高校総体入賞は、リレー3位・個人ではメドレーの優勝をはじめ、自由形短距離で5位・7位などの成績を残している。昨年度も個人メドレーで3位に入賞した。

また、今年の6月には念願の室内温水プールが完成することになった。今まで16年間、限られた予算、スペース、時間のなかで練習し、生徒も家に帰るのが10時過ぎという生活が続いてきた。これからは北陽の水泳も新しい時代を迎える訳で今まで以上の活躍をしなければいけないと思っている。日本高校新記録の中に北陽の名が載ることを心に誓い、今後さらに水泳に燃え、そのともしびは消えることを知らないのである。北陽の歴史に水泳あり、日本の水泳に北陽ありと限りなく……

鉄道研究部

二年A組 矢野 良和

'92年は新入生が4人入部しましたが、恥ずかしながらも合宿と文化祭以外はこれといった活動ができませんでした。文化祭も下田前部長ら3年生が就職活動や受験などでなかなか活動できず、模型展示ではあまりよい成果をあげることができませんでした。合宿は九州を一周して帰って来るもので、新型特急「つばめ」等に乗りました。しかし期間が短かかったので長崎や桜島等に行くことができませんでした。

今年の合宿は伊豆・箱根から富士山・信州通り北陸へ抜けるという計画を立てていますが何分先の事なので、とりあえずは4月の小文化祭に向けて活動したいと思います。

同窓の皆さんへ！こんにちは！

副会長 三木 憲三 (S23年卒)

私は昨年7月25日の代議員会で副会長に選ばれたのですが、故坂本・加茂両副会長と云う誠に立派な先輩方の後をお受けしてのこととその責務の重大さに身の引き締まる思いであります。

ことしの2月、母校の卒業式に藤井会長に代って参列いたしましたが、我々の時代と違って立派なそして、スケールの大きな卒業式典を目のあたりにして深く感銘いたしました。592名と云う多くの生徒諸君が母校を巣立って行きましたが考えてみると、これらに伴って毎年同窓会員が増えて行っていることは云うに及ばない處で、同窓会にとっても誠に喜ばしいことであります。そして北陽同窓会がこれら卒業生にとって本当に心の良き置き所でなければならぬと痛感をいたしました。

私としても微力ながら同窓会を通じて母校発展の為に努力を重ねてまいる所存ですので先輩諸兄のご指導を賜らんことを切にお願い申しあげます。

副会長 福島 嘉雄 (S26年卒)

久し振りに会報誌上ではありますが、同窓会の皆様に謹んでご挨拶申し上げます。皆様には毎日お元気で広く社会各界方面にご活躍の事と拝見して陰ながら非常にうれしく存しております。又平素はご多忙の中を同窓会発展の為に心をよせられご協力を賜わり厚く深く感謝いたします。

人間は誰れでも死ぬまで生き生きと暮らしたいものです、そう云う意味で健康なうちにと同窓会のお手伝いさせて頂いております。今後共同窓会に変りないご支援をお願い申し上げます。

以下理事の各氏

松村 豊 (S4年卒)

「北陽商一會」これは9年前に私達昭和4年第1回卒業生が同窓会を結成した時に付けた会名です。会員は現在10名足らずの人数です、全員が明治生まれの高齢者ですので同窓会の時は全員が集まると云うことはなくなりましたが、少なくとも年1回は集まってお互い健康のこと家庭のこと或は社会のこと等語り合い僅かの時

間ですが楽しい時間を過ごす様にしております。

ところで若い世代の皆さんは同窓会結成しておられますか、まだの方々は出来るだけ早期に結成されることをお勧め致します。私達は当時の社会情勢の関係もありましたが過ぎたと反省しております。どうかこの様な悔いを残さない為にも是非ご検討下さい。学校や先生・友人のことなど懐しい思い出を語り合うのはほんとうに楽しいものです、一日も早い結成を期待し、同窓会発展に寄与されんことを願って止みません。

小宮 茂 (S10年卒)

私はこの度、簡単に理事を承諾いたしましたが、ほんとうは東京という遠隔地に居住しているのだから、理事会又は同窓会の運営上の問題で迷惑をかけることになるのではないかと、些か心配です、無論、藤井新会長を中心には、その方針に従って会員相互のコミュニケーションを拡大して参りたいと努力いたす所存でございます、今後とも同窓諸氏のご指導ご鞭撻の程、よろしくお願ひいたします。

中野 豊治 (S18年卒)

今回、同窓会長に藤井文太郎氏が就任され、2万5千名の会員（卒業生）を擁して、同窓会の運営の在り方、見直しを掲げ第一歩を踏みだそうとしています、まず会員とのコミュニケーションを計るべく、そのバイブルとしての代議員の増員、理事の若返り増員を推進し、その陣容が整いつつありますが、やはり基本的には卒業年次毎の同窓会、職域グループの集い等をハイブリッドしていくことが必要であろうと思います。

私達も過日の同窓会で新代議員5名の方の承諾を得て増員を計りました、今後先輩として皆様の職域におられる若い会員の方々の良きアドバイス役を担っていただきたいと思います、次回同窓会でお逢いできますように。

山崎 勝巳 (S18年卒)

思い出は若い時程、脳裏に刻まれているものである。糸島校長のオヒゲもそうだが階段教室の授業、イーストマンカラーの当時としてはユニークな教育でもあった。あの日に並んだ食堂のカレーに至っては今もその味が舌に残っています。

る。芸は身を助けるというが、八沢先生の上手な教え方の英語で、養精中学の英語の教師になり、珠算（商業）の先生となったのも北陽の土壤があったからこそだ。

愛校精神が兎角云々される今、毎年同窓会を開いているのも我々昭和18年12月卒業生の誇りともいいくべきか、その灯の消えないようにと決意するのは私一人ではない。

漲る水の大淀川の光も清く曳くところ……北陽校歌を絶唱しつつ、私は愛しつづける母校！ 北陽を！

松城 友一（S20年卒）

昭和20年第17回卒業同窓生の皆さんお久しきございます。昭和15年入学し、在学中は勉学に励みましたが昭和16年12月戦争突入。戦時中は人生一番良き時代を無駄にすこし、終戦後48年何の言葉もなく別れ別れ思い出一つ語れなかつた我々、今思えば悲しい卒業の別れでした。今ここで48年前の学生に返り、若き時代の思い出を語りあう同窓会を開き、同窓相互の親睦を深めながら、余生を楽しく送りたいと思います、どうか同窓会開催には是非ご参加下さい様心からお待ち致します。

鵜川 権治（S20年卒）

昭和16年、太平洋戦争の始まった年に入学、同20年、終戦の年の春、1年繰り上げて卒業、戦争の真っ最中の北陽生活でした、私ども入学時から黒色の制服がカーキ色の制服、帽子も戦闘帽になって戦時色一色になりました。そして在学中の約半分は学徒勤労動員で軍需工場の日本橋梁で勤労奉仕、まともな学力もないまま卒業という苦い思い出も今では懐かしいものです。

昭和23年縁あってマスコミ関係に就職、同63年無事卒業しました。

昨年5月から同窓会報の編集のお手伝いをさせて頂いております、同窓諸賢の情報、クラス会等の原稿（写真も）をどしどしご投稿下さいますようお願い致します。

栗田 文吉（S23年卒）

私の北陽時代は戦後荒廃の中で新設されたボクシング部で母校の栄誉と我が青春を爆発させた時代でした。関西大学に進学卒業後ヤンマーディーゼル㈱に入社今日に至っております。

今、振り返って、私の人間形成の原点は北陽時代にと言えるでせう。それだけに母校に関する愛着は人一倍で転勤の多い私には何處にいても母校の動静が気になりました。東京勤務の時東京同窓会から説明を受け大感激したこと、大

阪勤務になり、同級生とゴルフを楽しんだ時、今を忘れて語り合ったこと等々、利害を越えての同窓の集りが如何に私達の明日への大きな糧になるかを考へる時、今後、同窓の集いが地域を中心に組織化され拡大されることを切望してやみません。

杉本 庄七（S25年卒）

私は昭和25年北陽高校第1期の卒業生です。昭和46年4月、吹田市議会議員に当選、以来22年間地方政治の発展を目指して全力を尽くして参りました。

北陽高校への愛着は卒業後益々盛んになっています、従って、同窓会活動の活性化のため微力をつくしていますが、意外な体験をしました。卒業生の諸氏が愛校心の点において、案外低調だということです。在学中又は教諭部門に欠点があるのではないかと心配しています。

皆川 良起（S25年卒）

私達、昭和19年の入学生は戦中、戦後の混乱期が北陽在学時であったため、記憶に残るような楽しかったこと、又懐かしい想いは極めて少なかったように思います。それは食糧難と云う時代が影響したからではないでしょうか。母校を卒立って40有余年、我が後輩達が勉学に、スポーツに、日々切磋琢磨している今日を見ると全く羨ましい限りです。

24、25年卒業の皆様、私達も昔を思い起こし互いの交遊を深めようではありませんか、その為、同窓会を開く計画をしたいと思っております、是非ご協力下さい様お願ひ致します。なお連絡は下記へお知らせ下さい。

〒569 高槻市西町38の22 (0726)96-7782

小林信次郎（S27年卒）

学校とは人生のコンセプトとノウハウを教え、教え子は現実に対応しながらそれを実践する。だから同窓会とは、学校の化身とも言えよう。

一昨年、沖縄を旅したとき、大戦の悲劇を象徴するひめゆりの塔とその会館はひめゆり部隊を出した学校の同窓会の事業の一つとして運営され、ひめゆり部隊の生き残りの同窓会員が、大戦後約50年の今日も訪問者に説明を行ない、歴史の風化を防ぐ努力を重ねていることを知り、深く感動したことがある。旧沖縄高女と沖縄師範との歴史の一駒は今も忘れ難い。同窓会とは心の古里以上のものだ。

阪原 弘 (S 27年卒)

今年は人生の節目の還暦を迎えた。それに合わせたように初孫にも恵れた。妻は健康な実年生活でこの孫の大学生の姿をみたいと言い、夫婦共にその目標に向かって日頃の健康管理をしようと日々言い続けている。暴飲暴食を謹み、一日三十品目の食品を最低限食べることにし、宵っぽりをしない（朝寝坊はその限りにあらず）運動は適度にする。こんな事を彼女は実践している。

一方私は酒席ばかりの生活でもなく、仕事は現役でハートにこなし、アウトドア派を自認している。健康管理の事を頭に置いた矢先、クラス会の計画をたて、案内状の返事を見て病気、物故者が目について驚きとともに益々日々の努力が必要だと思い知らされた。諸兄の健康人生に乾杯。

宮永 康之 (S 30年卒)

「光陰矢の如し」の諺の通り、私が母校を卒業して早や38年の年月が流れた。

戦後、日米講和条約が結ばれ再び日本が独立した昭和26年、母校へ入学した。担任は故人になられた庄田先生、先生には経済を、そして現校長の林先生には英語を教わった。両先生とも格調あるご講義の中にも優しさがあった。まさに「知徳体」であった。

校内食堂でうどん一杯10円也。街には「上海帰りのリル」の歌が流れていた。懐しい学生時代であった。

やがて円型校舎になり、そして現在の地に堂々たる五階建の学びの舎が出来たのだった。このたび理事を拝命し、微力ながら母校同窓会のため働く決意であります。

越川 昇 (S 40年卒)

縁があって同じ学舎で勉強をした同窓生の皆さん。開校以来67年、卒業生2万余を有する伝統のある同窓会です。

私は、昭和40年の卒業です。同窓会名簿を見ていますと、我々の先輩諸氏は非常に優秀な方々がいらっしゃいます。お話をさせて頂きますと大変勉強になります。皆さんも同窓会に参加されてみませんか。

皆さんが多数参加されて、益々有意義な同窓会にしたいものです。

窪田喜久男 (S 41年卒)

卒業後27年も過ぎれば想い出は去りつつあります、幸いなことに私は硬式野球部に所属、当時はクラブ活動が楽しいことなど、ほど遠く「甲子園」の3文字に向っての練習は、とても厳しく苦しいものでした。しかし卒業後、年数がたつにつれ、苦しいとしか思えなかった練習が、大切な想い出に変わって行くのが不思議でなりません。

多感な高校時代に素晴らしい恩師、そして球友に恵まれ、体力、精神面を充実して頂いたことに心から感謝する次第です。

O B会総会も毎回盛会で、年齢を越えて共通の話題で満開に花が咲いております。喜び苦しみ、辛らかったこと、くやしい思いはいつの時代の若者達にも心搖さぶられる想い出なのでしょう。

濱田 康雄 (S 41年卒)

皆様方は、北陽高校を卒業され過去を振り返ってみる時、各人各様の感想があることでしょう。それがどの様なものでも人生の好伴侶にふさわしいことに違いありません。私はまだ若くして、かつ感激し易く素直である事。この感激銘を忘れる事なく大切にしてきました。

半面くだらない印象を受け、それを忘れるには余りにも空虚を感じるものについてはなるべくそれを忘れる様に努力します。人生は楽しく有意義に過ごしたい。私達は何歳になんでも、鋭い感受性を持ちたいものです。半面、忍耐強く、素直であります。そして正義感を失わず社会の進歩に貢献出来る事を喜びとし又、これから社会に巣立つ若者達にもあえて苦言したい。

鈴木 满 (S 42年卒)

早いもので私が卒業してから、25年が過ぎようとしています。我々は体育館で「希望」を抱いて入学式に参加しグラウンドは造成中ありました。

北陽での思い出となると、S 41年の夏に松岡先生の指揮のもと念願であった甲子園大会へ初出場がかなったことがあります。出場のおりには、故三雲先生はじめ全校が一丸となって灼熱の中アルプススタンドから応援を仰いだのも昨日のようである。「感謝」。

多水 善和 (S 44年卒)

現在、数多くの実社会で活躍されている卒業生の皆様、お元気でいらっしゃいますか、今後の同窓会活動をより一層活発にしていくため広く参加を呼びかけております。母校の現況や、卒業生同士の連絡、近況報告、ご意見、ご希望など、どしどしおよせ下さい。

同窓会は北陽のOBとして誇りを持って前進し、教師・学生・卒業生が相互のコミュニケーションをはかり、親交を深めたいと思います。そんな同窓生の「心のふるさと」親睦の場でありたいと願うものです。同窓生のみなさんよろしくお願ひします。

「北陽時代の思い出のひとこま」

今をさかのほること40数年、太平洋戦争の最中の昭和18年に入学、まだ敗戦の混乱が続く昭和23年に旧制最後の北陽商業の卒業である。この様なことから教室で授業を受けた記憶は入学当時のしばらくの間と昭和20年の終戦で復学してから卒業迄の2年間で、北陽時代の大半は学徒動員で当時、大淀区長柄に在った日本橋梁と云う会社で働かれていた、その日本橋梁㈱が現在私の会社(栄興電機工業㈱)の大得意先として深くつながっているのは不思議な縁である。

昔から北陽では剣道が盛んで大へん強く全日本を制した先輩が何人かいた。入学時には小生も剣道部に入部し少々かじったが、戦後連合国軍総司令官であったマッカーサーの命令により剣道、柔道等日本古来の武道は禁止され、練習することができなかった。

それに代ってと云う訳ではないが当時毎日新聞社の後援で日本アマチュアボクシング連盟が中等学校のスポーツにボクシングを奨励し講習会を行い対抗試合も実施され始め、我が北陽もいち早く、これを取り入れ拳斗部(当時は)を作ったのが一年先輩の初代キャプテンを務めた

北川 徹 (S 45年卒)

昭和45年商業科を卒業してから早や23年が過ぎました。当時、高度成長の象徴、万国博覧会が開かれ、日本も先進諸国の一員となつた良き時代であります。3年C組だった私は佐藤誠一先生にお世話をになり今もお付き合いさせて頂いております。北陽同窓会の皆様方のすばらしい人柄と母校を思う情熱は私の心中に深く熱く伝わってきます。私も微力ではありますが、お役にたてればと思っています。これからも皆様方のご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひ申し上げます。

副会長 三木 憲三 (S 23年卒)

岸上温光氏であった。翌年、私が二代目キャプテンを引継ぎ部の活動を盛り上げるために傾注した。昭和22年秋には日本アマチュアボクシング連盟主催、毎日新聞社後援の第一回全日本中等学校ボクシング選手権大会が開催されることになり、各地で予選が始まられた、私がバンタム級で栗田文吉君がフェザー級で出場した、大阪予選と共に勝ち進み、近畿各府県の勝者に依る関西地区決勝にも共に勝ち、その年の12月、東京で開催された全国大会に関西代表として出場したが、各地方代表選出のトーナメント戦で勝ち抜き、私は幸運にも初代のバンタム級の選手権を獲得することができた。栗田君は決勝戦で反則が原因で判定で敗れ涙をのんだ。その後北陽ボクシングは高校界の雄として活躍したが昭和37年に残念ながら廃部となった。

今北陽と云えば野球やサッカーの活躍により知らない人はいない程有名であるが、戦後の北陽スポーツにおいて初めて全日本優勝をなし遂げたのは拳斗部であったことを今は知る人も少いが、私にとっては戦争による波乱多き北陽時代の今は懐かしい青春のひとこまである。

“安全と安心”をお約束します

大阪府公安委員会認定 第874号
社団法人全国警備業協会会員
社団法人大阪府警備業協会監事
大阪府警備連盟理事

有限会社 杉本警備保障

代表取締役 杉本次男 (昭和十八年卒業)

本社〒573 大阪府枚方市走谷1丁目11番12号 TEL(0720)43-1231番 FAX(0720)43-2433番

(兼業として)…第一種利用運送事業(貨物自動車)(近畿運輸局許可 近運貨取第112号)を営業致しております。倉庫・百貨店・スーパー・飲食業者等に対する定期的な貨物運送業務を致しております。御用命をお待ち致します。

同窓会事務局報告

第15回代議員会

平成4年7月25日(土)大阪ガーデンパレスで恒例の代議員会を開催いたしました。

代議員会には稻野会長が出席すべきところが稻野会長の黙禱で始まるとは、嗚呼、稻野会長、どうしてそんなに躁急に関西大学の理事長、北陽同窓会会长の現職をあい半ばして遠く旅立たれたのであります。残された先輩後輩は痛恨の悼みであります。

偉大な北陽の大先輩稻野会長を失ったことは北陽同窓会にとっては正に巨星落つの感あります。同窓会に大きな空洞が出来た如きであります。私達北陽人はその空洞を少しずつ埋めていかなくてはなりませんが、それは厳しい道程であります。

第15回代議員会で新会長に藤井文太郎副会長が満場一致で可決されました。これで同窓会は藤井新会長を中心に福島・三木副会長のご協力を頂いて一路邁進していかねばなりません。

どうか今後の同窓会に皆様のご協力を切望する次第であります。

平成3年度の代議員会も代議員各位のご賛同を頂き無事終了することが出来ました。ご協力誠に有り難うございました。

続いて理事の杉本庄七氏のご紹介でご多忙中の佐々木 進先生の講演、「孝謙天皇と道鏡」を拝聴して古代ロマンに佐々木先生が説いて下さいました。限られた時間が残念であります。

会次第は次の通りです。

開会のことば

会長代行挨拶

校長挨拶

議長挨拶

議事(審議)

会長選任の件・会長挨拶

平成3年度事業承認

会計決算報告承認

監査報告

平成4年度事業計画

会計予算案

第1回理事会 平成4年6月27日

1. 三木恵三氏新副会長を承認

2. 役員改選は現役に引き続きお願いする

3. 新理事に鶴川権治氏を承認

4. 会報委員に新理事の鶴川権治氏を承認

5. 平成3年度決算報告、予算案の承認

6. 支部育成費(同窓会祝金)の5千円を1万円に値上げ

7. 慶弔規定金額は従来通り

8. 預金通帳の名義を変更

9. 7月25日(土)の代議員会の打合せ

同窓会員数 25,915名
在校生 1,734名

第2回理事会(臨時理事会) 平成4年7月14日

1. 会長代行の件

2. 代議員会の件

第3回理事会 平成4年7月25日

(ガーデンパレス)

1. 平成3年度事業報告

2. 平成3年度会計報告

3. 平成4年度事業計画

4. 平成4年度予算審議

5. 新代議員委嘱状況

第4回理事会 平成4年9月19日(新阪急ホテル)

1. 理事増員の件 新理事に

小宮 茂(S10年卒) 栗田文吉(S23年卒)

阪原 弘(S27年卒) 宮永康之(S30年卒)

窪田喜久男(S41年卒) 鈴木 満(S42年卒)

北川 徹(S45年卒)の各氏。

顧問に杉本二一氏

2. 代議員増員の件 総数300名にする
クラブOB、現理事、現代議員の方に推選していただく

3. 会報発行の件

4. 会則改正委員会の設置

委員 会長・副会長 山崎・杉本・鶴川・越川 各理事

第5回理事会・忘年会 平成4年12月19日
(フォルクス中津店)

1. 新理事の紹介

2. 平成5年度会報発行の件

3. 平成5年度代議員会に関する件

報告事項

1. 理事・代議員増員の経過について

2. 理事・代議員委嘱状況の件

3. 会則改正委員会のその後について

第6回理事会 平成5年2月13日
(フォルクス中津店)

1. 会則改正委員会の件

藤井会長、三木・福島副会長、山崎・鶴川・杉本・越川各理事以上の方で2回目の改正委員会を行う

3月19日の会則委員会には新会則ができる予定です。

2. 会報発行の件

3. 代議員会の件 平成5年5月8日

場所 新阪急ホテルにて

報告事項

1. 忘年会理事会会計報告

2. ハンドボール大阪代表について

同窓会より祝金10万円と横断幕7万8千円をおく。

代議員名簿

(順不同 敬称略)

S 4	岩永 清治	S 10	今村 稔	S 12	田村 章一	S 18	田宮 久一
S 16	浦田 好	S 16	宇野 博之	S 20	高間 照男	S 20	田中 道博
S 16	巽 五平治	S 17	岩崎 悅治	S 20	豊田 春海	S 23	武岡 昭夫
S 18	小川 昌雄	S 18	上田 吉一	S 33	高島 清助	S 36	高木 德貴
S 18	石田奈良三	S 18	上田 康三	S 37	十時 良雄	S 38	時田 慶司
S 18	奥田 正道	S 20	有福 健	S 41	立花 弘道	S 55	谷岡 幸一
S 21	井上 三二	S 23	内田二三男	S 56	富江 道祝	S 63	高尾 豪
S 26	岡田 勉	S 28	海野 勇	H 2	辻 隆志	H 2	田淵 大
S 29	小畑 一義	S 29	今西 哲司	H 3	友綱 隆治	S 4	中井 観
S 33	岡田 博	S 36	植松 厚司	S 14	中尾 平治	S 18	中路 太
S 37	池本 保彦	S 38	大矢 登	S 23	中尾 晴郎	S 34	西岡 浩一
S 39	岡部 守隆	S 40	牛神 良一	S 34	仲川 義一	S 41	西本 太一
S 41	稻嶺 盛幸	S 41	稻塚 益生	S 41	西田 和夫	S 43	中務 昭
S 41	岡野 重信	S 41	祝 幸一	S 50	中尾 明	S 53	西村 宏
S 42	足立 宗央	S 43	飯川 隆司	S 63	永里 和茂	H 3	中小路 修
S 47	岩本 悟	S 53	小前 真清	H 3	野田 富美	S 4	藤田 忠
S 62	石橋 健	S 63	公受 真清	S 13	藤川 孝夫	S 14	日上 光
H 1	岡部 友治	H 1	阿久津 博	S 14	樋口 一良	S 17	福武 喜与
H 2	岡田 祐一	H 2	尾崎 幸司	S 17	藤瀧 升	S 18	平野 正勝
H 2	太田 幸弘	H 3	近江 貴喜	S 18	烟 一	S 20	藤井 賢
H 3	宇野 耕介	H 3	大橋 良俊	S 22	法柏 明	S 23	橋屋 秀夫
H 3	安部 克彰	H 3	奥田 俊次	S 28	福原 功	S 29	比夫 见
H 4	近江 紹実	H 4	浦竹 建次	S 41	服部 彦	S 43	林 恒一郎
H 4	今西 匠	H 4	明石 義之	S 46	平山 善	S 48	平坂 仁志
H 4	市川 茂太	S 14	小瀬戸 善雄	S 50	橋本 浩	S 59	平野 嘉智
S 17	菊野 良平	S 17	北秋 一	H 2	城谷 正	H 2	藤原 幸
S 18	釘宮 義照	S 18	加藤 隆明	S 13	松尾 和	S 14	松浦 義
S 20	龟田 真守	S 20	北島 光男	S 17	百崎 正	S 18	真壁 昭
S 23	上砂 龍夫	S 23	神尾 正生	S 18	松原 利	S 20	村田 修
S 28	笠井 市雄	S 35	木村 陽一	S 20	三宅 喜	S 23	溝畠 雅
S 36	勝丸 有吉	S 43	河本伸二郎	S 32	宮辻 光	S 33	宮永 宽
S 45	梶浦 照樹	S 51	北村彰太郎	S 36	真砂 洋	S 37	村田 寛
S 53	川城 勝良	S 56	亀井 康之	S 39	松田 輔	S 40	宮本 勉
S 56	坂 千次	S 58	川合 浩幸	S 41	増田 彥	S 41	松田 二郎
S 60	河上 康裕	H 2	金岡 順一	S 51	前田 勝	S 60	水野 和也
H 2	片平 寛幸	H 4	古賀 德	S 62	森重 博	H 2	松本 和
H 4	金城慎太郎	H 4	川崎 泰	H 2	光田 勝彦	H 2	松本 忍
S 6	左海 茂	S 6	杉本 二一	H 3	村川 樹	H 3	山下 秀夫
S 6	杉本 誠三	S 9	関 愛之	H 3	芳仲 利	S 14	山下 二治
S 18	佐藤 誠一	S 18	杉本 次男	S 15	吉岡 仁	S 17	秀家 繁史
S 35	塩田 修三	S 39	城野 正博	S 20	吉岡 重	S 20	明賢
S 40	城島 未明	S 41	庄田 新一	S 20	山下 稔	S 30	吉村 康
S 42	坂下 忠男	H 2	吹田 彦	S 34	吉田 弘	S 56	山村 下
H 2	坂野 裕之	H 2	城谷 浩司	H 1	八頭司 明義	H 2	山下 賢
H 3	杉本 貴雄	H 4	鈴木 秀幸	H 3	吉田 和也		
S 4	高山 強	S 4	千原 勇				

北陽高等学校同窓会会則

(平成5年5月8日 改正)

第1章 総 則

- 第1条 (名称) 本会は北陽高等学校同窓会と称する。
- 第2条 (目的) 本会は会員相互の親睦を図り母校の発展に寄与すると共に社会に貢献することをもって目的とする。
- 第3条 (事業) 本会は前条の目的を達成するため次の事業を行う。
1. 会報及び会員名簿の発行
 2. 総会及び代議員会の開催
 3. 母校の発展に寄与する事業
 4. その他目的達成に必要な事業
- 第4条 (本部及び支部) 本会は本部を北陽高等學校同窓会室におく
支部は必要な地域又は職場に設ける事ができる。
本部を事務局におき本会の事務を処理する。

第2章 会 員

- 第5条 本会の会員は次の通りとする。
1. 正会員
 - (1) 北陽商業学校、北陽工業学校、北陽中学校及び北陽高等学校の卒業生。
 - (2) 上記学校に在学した者で理事会の承認を得た者。
 2. 特別会員 母校の現職員並びに旧職員。
 3. 名誉会員 母校もしくは本会に特別の関係ありと認め理事会の承認を得た者。

第3章 役員及び役員会

- 第6条 1. 本会に次の役員を置く
1. 名誉会長 1名(母校の現校長)
 2. 顧問・相談役 若干名
 3. 会長 1名
 4. 副会長 3名以内
 5. 理事 30名以内
 6. 会計 1名
 7. 監事 2名
 8. 代議員 300名以内
 9. 事務局長 1名
2. 役員の任期は3年とする。但し再任を妨げない。

- 第7条 1. 役員は理事会の同意を得て代議員会の承認を得るものとする。

- 第8条 (任務) 1. 会長は会を代表し会務を統括する。
2. 副会長は会長を補佐しその代理を務める。
 3. 理事会は会務を執行し会の運営に必要な内規を定める。
 4. 会計は会の財務を処理する。
 5. 監事は会計を監査する。
 6. 代議員会は次の事項を審議する。
 - (1) 事業計画及び予算
 - (2) 事業報告及び決算
 7. 事務局長は本部事務局を管理し会長の指示を受け会に関する事務全般を処理する。

第4章 会 計

- 第9条 本会の経費は会費、寄付金、その他の収入をもってこれに充てる。
- 第10条 本会の会計年度は毎年4月1日より翌年3月31日までとする。
- 第11条 (会費) 本会の正会員は終身会費を負担するものとする。

第5章 総 会

- 第12条 総会は会長これを招集し代議員会をもってこれに代えることができる。

第6章 支 部

- 第13条 本会は支部を設けることができる。支部長は支部を統括し本部にその会則役員名その他重要事項を報告し連絡を密にするものとする。
- 第14条 本部に支部長会をもうけ隨時開催して支部相互の連絡協調を計り親睦を深めるものとする。

第7章 会則変更

- 第15条 会則の変更を必要とする時は会長は理事会の議を得て総会又は代議員会の承認を得るものとする。

第8章 附 則

- 第16条 その他定めなき事項は会長が理事会にばかりこれを決定する。

- 第17条 本会則は平成5年5月8日に改正し施行する。

(一線 改正分)

藤井文太郎同窓会長紹介

(大正10年12月23日・西年 当年71歳)

略歴	昭和14年 北陽商業卒 (第11回生)
"	19年 関西大学法文学部政治学科卒
"	20年 復員 (海軍中尉)
"	21年 大阪新聞社入社 (社会部記者)
"	25年 万両酒造株式会社専務取締役
"	28年 同 取締役社長

主な公職歴	昭和23年 北陽同窓会理事
"	28年 全国清酒協議会代表幹事
"	31年 茨木商工会議所副会頭
"	35年 大阪府P.T.A協議会副会長
"	37年 茨木市教育委員
"	40年 茨木ロータリークラブ会長
"	53年 全国精國獻酒会代表世話人
"	56年 北陽同窓会副会長
平成4年	同 同窓会長

平成4年度 北陽同窓会決算報告書

H4.4.1~H5.3.31

収入の部			
科 目	予 算	決 算	摘要
前期 極越	14,897,549	14,897,549	
会 費	3,020,000	2,960,000	592名@5000円
受 取 利 息	400,000	424,323	
代議員総会会費	250,000	225,000	
全 報 決 算	0	100,854	
名簿 売 上	0	11,820	
合 計	18,567,549	18,619,546	

仕出の部

科 目	予 算	決 算	摘要
理事代議員会議費	800,000	568,494	
学校への協力金	250,000	250,000	クラブ活動補助
人 件 費	650,000	624,000	
交 通 費	100,000	81,110	
消 耗 品 費	50,000	21,175	
通 信 費	100,000	92,065	
印 刷 費	100,000	41,749	
備 品 費	50,000	32,691	
支 部 育 成 費	100,000	60,000	
慶弔 費	200,000	49,350	
予 備 費	300,000	178,000	
次 期 極 越	15,867,549	16,620,912	
合 計	18,567,549	18,619,546	

教職員異動

●新教頭 (H.5.4.1)

金澤 勇 S33.4.母校教諭

●退職者 (H.5.3.31)

堀江通輔 (S52.9から教頭)

ご挨拶

教頭 金沢 勇

このたび、福武学園・北陽高校理事長より教頭職を拝命し、4月1日より就任することになりました。なにぶんにも初めての経験ですが、職務であります「校長を助け、校務を整理する」に心掛け、本校の発展のために最善を尽くす覚悟であります。

つきましては、本校が生徒減少期を迎えるなかで、拡大発展を遂げるためには、卒業生諸氏のご支援、ご鞭撻を待たずしては、誠に困難と存じますので、従来と変りないご尽力ご協力の程、よろしくお願ひ申し上げます。

お悔み申しあげます

坪田 祐三氏 (S14年卒)

〒610-11
京都市西京区大枝南福西町1-1-43-202

H4.3.15 71歳

間 輝夫氏 (S14年卒)

〒660-01
兵庫県川西市水明台2-3-19

H4.3.26 71歳

養老 美雄氏 (S15年卒)

〒115
東京都北区赤羽台2-3-30-509

H5.2.7 70歳

高橋省五郎氏 (S15年卒)

〒115
東京都北区霧ヶ丘2-10 N32号-12

H4.9.29 72歳

宇野 實氏 (S4年卒)

〒513
三重県鈴鹿市道伯5-16-9

H5.4.5 83歳

薮内頼一氏 (S10年卒)

〒572
寝屋川市成田東町20-10

H4.11.27 75歳

会報13号に寄付頂いた同窓各氏（敬称略、順不同）

松村 豊・杉本 誠三	上田 秀一・小寺 恒雄	村元 昇・浜田 康雄	宮田 一・松尾 嘉雄	木村 一毅
内田二三男・村田 昭・神野 賢祥	城島 未明・小川 昌雄	小宮 権治・鶴川 幸治	福島 山本 喜治	宮野 久孝
国利益一郎・谷 勇三・北島 光男・良原 文藏	松田 正・黒田 信夫・酒井 英二	日本 德本 友一・樺口 和夫	山本 釣宮 寛夫	小原 喜三・西岡 勇
三宅利喜男・渡辺 章・松原 正・荒木 俊夫	正・小川 正明・北村 敬一	日本 松城 健一・西野 富三	山本 釣宮 寛夫	寺岡 義夫
辻谷 豊・川口 重夫・西村 貞彦・荒木 俊夫	小川 宜孝・藤川 孝夫	日本 小坂 健一・西野 富三	藤山 富三・中井 治男	山口 中野 善起
高谷 文雄・三雲 宗信・味舌 十七・小川 正明	杉中 幸男・巽 五平治	日本 林 智・札場 雄志	山本 富三・皆川 雄志	中野 刚・高木 利啓
名村 博・菱矢 一男・西村 一男・杉中 幸男・巽 五平治	杉中 幸男・巽 五平治	日本 吉夫・津田 義雄	山本 富三・皆川 雄志	山口 中野 善起
印藤 貞夫・上田 昭三・杉本 修・岡田 英治	石山 万佐雄・篠部 修・井筒喜一郎	日本 吉夫・津田 義雄	山本 富三・皆川 雄志	中野 刚・高木 利啓
新井 敏男・岡本 修・岡田 英治	西川 修・井筒喜一郎	日本 吉夫・津田 義雄	山本 富三・皆川 雄志	高木 利一・三勝 勝
高木 隆雄・松本 菊夫・宇野 博之	美雄・森井 俊一・宮崎 弘昭	日本 吉夫・津田 義雄	山本 富三・皆川 雄志	武雄・三勝 勝
徳男・田中 稔・今村 清一・田口 清一	森井 俊一・宮崎 弘昭	日本 吉夫・津田 義雄	山本 富三・皆川 雄志	忠雄・三勝 勝
田宮 春雄・吉田 健・榎本 友孝	原田 永信・千原 勇	日本 吉夫・津田 義雄	山本 富三・皆川 雄志	忠雄・三勝 勝
久保 郁夫・三木 恵三・牧野 雅男・竹若与志雄	唐金 清一・井上 勇	日本 吉夫・津田 義雄	山本 富三・皆川 雄志	忠雄・三勝 勝
岡田 博・藤井 常夫・大城戸 康雄	十川 裕之・清野 利平	日本 吉夫・津田 義雄	山本 富三・皆川 雄志	忠雄・三勝 勝
井上 三二・田中 勝彦・佐々木 茂三	吉田 義治・杉本 徹	日本 吉夫・津田 義雄	山本 富三・皆川 雄志	忠雄・三勝 勝
西垣 友夫・岡田 浩三・飯川 隆司	寺田 觉治・辻本 啓一郎	日本 吉夫・津田 義雄	山本 富三・皆川 雄志	忠雄・三勝 勝
福島 敏夫・玉置 元良・木下 衛	橋本 昭二・向所 登貴郎	日本 吉夫・津田 義雄	山本 富三・皆川 雄志	忠雄・三勝 勝
美和 成治・淡谷 薫・高間 照男	武治・橋本 昭二・向所 登貴郎	日本 吉夫・津田 義雄	山本 富三・皆川 雄志	忠雄・三勝 勝
梅森 一雄・西半 誠一・安田 寛治	百崎 和男・宇高松太郎・西岡 哲治	日本 吉夫・津田 義雄	山本 富三・皆川 雄志	忠雄・三勝 勝
川中 一色 義三・塙谷 半一・笹野 忠彦	吉富 陸夫・谷田 邦幸・山崎 忠平	日本 吉夫・津田 義雄	山本 富三・皆川 雄志	忠雄・三勝 勝
氏原 良男・大野 健三・坂本 嶽	森本 道幸・西岡 哲治	日本 吉夫・津田 義雄	山本 富三・皆川 雄志	忠雄・三勝 勝
田村 章一・中島 幸雄・安田 恵吉	木下 植昭・西岡 哲治	日本 吉夫・津田 義雄	山本 富三・皆川 雄志	忠雄・三勝 勝
上田 仁一・寺田 賢作・小谷 輝夫	内海 一泰・内田 道幸	日本 吉夫・津田 義雄	山本 富三・皆川 雄志	忠雄・三勝 勝
栗栖 治・鈴木 正司	乗上 奥田 二三夫・仲川 修三	日本 吉夫・津田 義雄	山本 富三・皆川 雄志	忠雄・三勝 勝
大西義三郎・福島 顯夫・西口 嘉彦	中吉 照男・佐野 晴郎	日本 吉夫・津田 義雄	山本 富三・皆川 雄志	忠雄・三勝 勝
東尾長治郎・田中 義信・吾妻 史郎	森田 昭弘・岩崎 晴郎	日本 吉夫・津田 義雄	山本 富三・皆川 雄志	忠雄・三勝 勝
京阪交通社・第16回卒業生同窓会に志・スポーツ八田	森田 昭弘・岩崎 晴郎	日本 吉夫・津田 義雄	山本 富三・皆川 雄志	忠雄・三勝 勝

第6回北陽ゴルフ会コンペ

北陽ゴルフ会コンペが平成5年4月7日、名門の西宮カントリークラブで行われた。

当日は桜花爛漫、絶好のゴルフ日和に恵まれ19名が参加、熱戦を展開した。なかでも第1回の卒業生で明治44年生まれ82歳の岩永清治・松村豊両先輩がベストのスコアで18ホールを完走され称賛の的となった、また岩永さんは阪南市箱作から遠路はるばるのご参加であった。

優勝は内田二三男氏、準優勝は同氏夫人の内田礼子さん。なおプレー後の懇親会で稻野会長のご遺志を受けつき、新会長に内田二三男氏、顧問に山崎勝巳氏を選出した。

次回は11月1日(月)ライオンズCCで開催の予定で同窓諸兄の交流と親睦を深めるため多数のご参加をお待ちしています。連絡は06-845-0345の内田さんまで。

(鶴)

稻野同窓会長追悼ゴルフコンペ

稻野会長を追悼するゴルフコンペが平成4年12月4日、滋賀県のオレンジシガCCで行われた。

当日はご長男の稻野治嗣さんと女婿の萩原待彦さんのご参加をえて、ご生前よく当地でゴルフを楽しめた会長を偲んでのプレーとなつた。終了後、供養の酒を酌みながらご遺徳を語りあい、ご冥福を祈って散会した。

なお優勝は内田二三男氏(S23年卒)、準優勝は中野豊治氏(S18年卒)であった。

(鶴)

会報発行寄付金(2,000円)のお願い

同窓会報は印刷費、郵送費などが主な費用であります。これらは同窓の協賛広告料、同窓会員各位の寄付金(2,000円)によって賄われています。

本年も何卒よろしく、ご協力下さいますようお願い申しあげます。

なお、昨年13号発行の際ご協力頂いた同窓各位にはご氏名を掲載して謝意を表しました。改めて厚くお礼申しあげます。

編集後記

会報14号も皆さんのご協力により発行することができました。

今号から母校の進路状況、同窓会員数、同窓の訃報など新たに取り入れ、そして今回は理事の各位に執筆をお願いしました。

今後も会報のより一層の充実をはかるため努力致して参りますので、ご意見、ご協力、ご寄稿をよろしくお願い致します。

なお今回ご寄稿下さった皆さん、広告を協賛して頂いた各位に厚くお礼申し上げます。

(広報委員会)

<p>旅は仕事の潤滑油 ひとりひとりを大切に旅のことなら 全国旅行業協会 大阪府支部理事</p> <p>北港ツーリスト</p> <p>代表者 福島 嘉雄 (S26年卒) 電話 06-329-1517 329-4416</p>	<p>高級純日本酒</p>  <p>万両酒造株式会社 社長 藤井 文太郎 (旧名 信雄) (昭和14年卒業)</p>
<p>濱本倉庫(株)</p> <p>濱 本 辰 巳</p> <p>(S17年卒) 電話 (06) 323-6375</p>	<p>栄興電機工業株式会社</p> <p>代表取締役 三木憲三 (23年卒) 本社 〒661 尼崎市瓦宮1丁目9-15 TEL 491-5301 工場 〒564 摂津市一津屋3丁目3-14 TEL 349-2831</p>
<p>昭和17年卒業 北陽商業学校第一本科 第15回卒業生同窓会(有志)</p> <p>会長 北秋一 電話 (06) 852-5566</p>	<p>茨木市役所</p> <p>北陽会一同 電話 (0726) 22-8121</p>
<p>松原紙株式会社</p> <p>代表取締役 松原正 (S18年卒)</p> <p>本社 富田林市若松町東3丁目7の45 TEL 0721-25-4415</p>	<p>昭和18年卒業 北陽商業学校第一本科 第16回卒業生同窓会有志</p> <p>世話人 真壁和義 電話 (06) 321-0025</p>
<p>株式会社 うを清</p> <p>本店料亭・大阪市中央区北久太郎町5の18 電話 (06) 252-7300~2番 西区立売堀・千里セルシ・虹のまち・新大阪駅・鴻池駅前</p> <p>代表取締役 津田真治 (S16年卒)</p>	

<p>小 川 昌 雄 (S 18年卒)</p>	<p>松城石油(株) 代表者 松 城 友 一 (S 20年卒) 電話 (0726) 34-0155</p>
<p>幼児教育から 老人・精薄 福祉に奉仕する 社会福祉法人 学 校 法 人 天王グループ 事務長 村 田 昭 天 王 統 緒 本 部 茨木市大正町3-16 電話 0726-35-1234</p>	<p>リコーOA機器専門店・総合コピーコーナー 東洋オフィスマシン株式会社 ABCコピーセンター 営業部長 神 野 賢 祥 本 店 〒532 大阪市淀川区西中島3丁目8番14号 大隅ビル1F-3F TEL 大阪(06) 304-8491(代)</p>
<p>ミヤナガドラッグストアー 宮 永 康 之 (昭和30年卒) 大阪市東淀川区菅原6丁目23-19 TEL 06-327-2666</p>	<p>川砂、建築材料一式販売 (株)三野商店 代表取締役 三 野 英 男 (S 30年卒) 吹田市南高浜町35-1 電話 (06) 383-0062</p>
<p>生菓子司 さ わ や 濱 田 康 雄 本店 〒566 大阪府摂津市千里丘東1丁目6-8 電話茨木(0726)22-2908 FAX (0726)23-9911 フォルテ摂津店 〒566 大阪府摂津市千里丘東2丁目10番1号 電話茨木(0726)25-5208</p>	<p>旅行のお申し込み・お問合せは 京 阪 交 通 社 修学旅行センター 東 朗 (S 46年卒) 電話 (06) 228-1691</p>
<p>塗装工事※看板 日本ペイント住宅塗替施工店 大阪府・吹田市指定業者 株式会社 寺 田 美 研 吹田市高浜町4番7号 電話 (06) 381-2401㈹</p>	